



タピストリーガラススクリーンで構成される北側正面ファサード

ディアナガーデン西麻布

2018年6月竣工 東京都港区

事業主／モリモト

デザイン監修／E.A.S.T.建築都市計画事務所 設計・監理／安宅設計

施工／イチケン

デザイン主旨

ディアナガーデン西麻布は六本木通りから日赤通りに抜ける西麻布の高台の高級住宅街に位置づけられるエリアで、上階では六本木ヒルズや東京タワーも望める立地にある。敷地は日赤通りも含め3つの道路に接続される特殊な形状で、道路への接続面が最も多い閑静な北面がメインエントランスとなる。日影規制の影響で北面は各階でセットバックを繰り返す形状となっている。通常北面は日照が得られない点でネガティブに受け取られがちであるが、逆に直射光の影響を受けずビューを享受できるという利点があり、トップライトと一体化した全面サッシュで、テラス、緑と一体化した都心の夜景も享受できる

開放的なセットバック住戸を実現している。また浴室は星空も望めるビューバスとし、都心でありながらリゾート感のあるライフスタイルを提示している。デザインを進めるにあたり、西洋的な付加していく高級ではなく、白木に代表されるようにナチュラルな素材の良さを生かした日本のシンプルかつ高質なデザインを目指した。メインアプローチは、ランダムに配置された柱を水が流れる石の壁で重層的に覆うことで、奥行き感のあるアプローチ空間を形成している。エントランスの扉が開くとフラワーアートが出迎え、住戸と駐車場へは背面のテラコッタルーバーが誘導する役割を果たしている。使用している素材は現代的な工業製

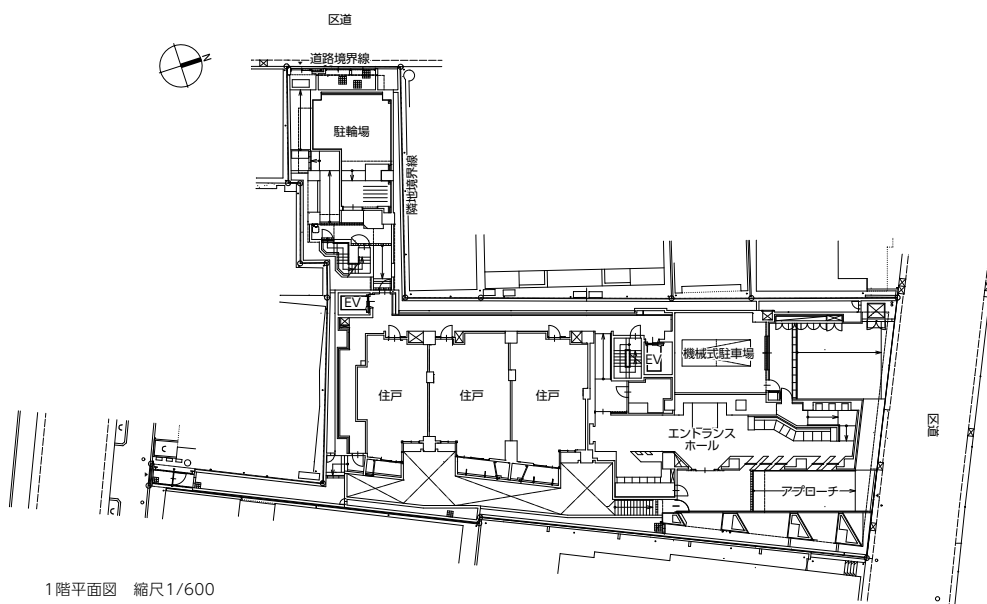
品ではあるが、どこか日本的な雰囲気漂わせている。

今回は3名の作家とのコラボレーションを行っている。北面ファサードはタピストリー作家による手織りのタピストリーを合わせガラスでサンドイッチしたスクリーンで、機器類を隠しながら上質なファサードを形成している。エントランス正面のフラワーアートはメンテナンスを考慮し、ドライなアレンジメントで来訪者を迎え入れる。また、エントランスホール正面には大理石の柔らかな造形の彫刻を壁面に浮かべている。いずれも、空間に合うように作家の想像力を発揮してもらったものである。

(東 泰規／E.A.S.T.建築都市計画事務所)



トップライトと一体化したサッシュでテラスと一体化した北側セットバック部



1階平面図 縮尺1/600



都心の夜景を望むセットバック住戸



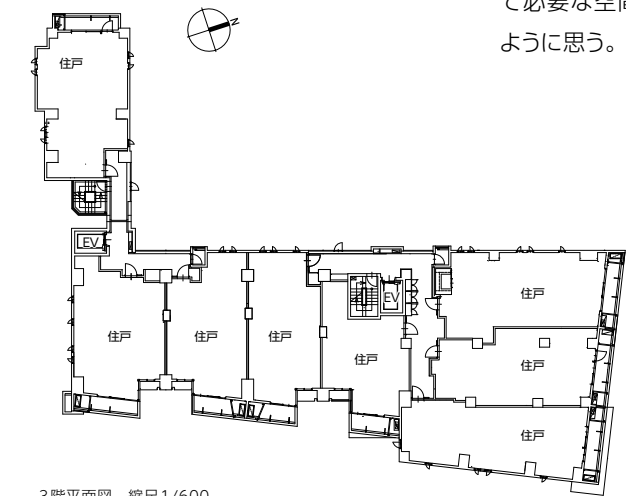
重層する壁面に滝を流したメインアプローチ



東面バルコニー

設計主旨

計画敷地は三方が道路に面していながらも角地ではないという少し特殊な形状をしている。また二つの用途地域にまたがっており、日影規制、北側斜線制限、道路斜線制限などにより複合的に形状が規制されている。限られた建物ボリュームのなかで、いかに容積率を消化しながら豊かな住空間を提供できるかが本計画の課題であった。4階から7階までの北側セットバック住戸に対しては、日影規制に沿って傾斜したトップライトを設けることで天井高さを確保しながらも専有面積を確保している。そのことで、高台であることもあり北向きながら採光と眺望に恵まれた開放的な住戸とすることができた。基準階では内部廊下



3階平面図 縮尺 1/600

を短くする配置とし、最上階ではメゾネット住戸とするなどして、共用部面積を抑え専有面積の確保を図りながら、55㎡台の1LDKから100㎡超の2LDKまでの幅広いニーズに対応する住戸タイプを用意している。北側のメインエントランスは、機械式駐車場のためにリニアな形状のアプローチ空間とエントランスホールになっているが、カスケードを設けた列柱やテラコッタルーバーなどによって、周辺の喧騒から切り離された住宅へと誘われるような、落ち着いた奥行き感のある豊かな空間となっている。本計画では法規や敷地からくるさまざまな条件を、事業主とデザイナーとの綿密な協議によって、ここにしかない魅力やこの建物にとって必要な空間へと昇華させることに成功したように思う。

(浅野 圭/安宅設計)



上/白木調の玄関ドアと間接照明の共用廊下 中/空も見えるバスルーム
下/フラワーアートが迎えるエントランスホール

ディアナガーデン西麻布 データ

所在地 東京都港区西麻布4-22-15

主要用途 共同住宅(分譲)

戸数 41戸

専有面積 55.04㎡~119.97㎡

事業主 モリモト

デザイン監修 E.A.S.T.建築都市計画事務所

担当/東 泰規、上原慧史

設計・監理 安宅設計

担当/総括: 浅野 圭 建築: 浅野 圭 構造: 井上

寛之 設備: 林 充 監理: 石川裕一

施工 イチケン 担当/曾根田隆男(現場所長)

建築: 塚越岳郎、高木太一、荻野将和

設備: 大西理貴

アート

ガラススクリーンタピストリー

橋本テキストアート 橋本京子

フラワーアート PLANTICA

石彫刻 Kai Studio 上田亜矢子

設計期間 2015年10月~2016年9月

東 泰規……ひがし やすのり

1957年和歌山県生まれ。1983年広島大学大学院工学研究科博士課程前期修了。1986年坂倉建築研究所入社。2009年代表取締役所長。2013年E.A.S.T.建築都市計画事務所設立

浅野 圭……あさの けい

1981年大阪府生まれ。2006年中部大学大学院工学研究科建設工学修士課程修了、同年プランツアソシエイツ入社。2010年安宅設計入社。現在、同社計画部

工事期間 2016年10月~2018年6月

【建築概要】

敷地面積 1,000.63㎡

建築面積 732.25㎡

延床面積 4,772.29㎡

建ぺい率 73.18% (許容317.48%)

容積率 316.95% (許容76.90%)

構造 RC造

杭・基礎 現場造成杭

階数 地下1階、地上9階

最高高さ 27.20m

軒高 27.20m

階高 3.01m

天井高さ 2.45m

道路幅員 北側7.32m 西側6.92m 南側10.96m

駐車台数 18台

地域地区 第一種中高層住居専用地域、近隣商業地域

【設備概要】

電気設備 受電方式/自家用変電設備(共用部)/集合住宅用変圧器・低圧受電設備(専有部) 変圧器容量/30kVA+200kVA(共用部)、250kVA+50kVA(専有部)

空調設備 空調方式/空冷ヒートポンプエアコン 熱源/電気

衛生設備 給水/増圧直結給水 給湯/ガス給湯器 排水/汚水・雑排水:汚水槽を経て下水道に放流 雨水:雨水貯留槽を経て下水道に放流 ディスポーザー排水:ディスポーザー処理槽を経て下水道に放流

防災設備 消火/屋内消火栓設備、連続送水管設備、消火器、ハロゲン化物消火設備(機械式駐車場)

昇降機 乗用(13人乗)×2基

【主な外部仕上げ】

屋根 アスファルト保護外断熱防水

外壁 磁器質ポーダータイル、ライムストーン

建具 アルミサッシュ、ステンレスサッシュ

外構 磁器質タイル、花崗岩

【主な内部仕上げ】

玄関・廊下・洗面室・トイレ 床/磁器質タイル 壁・天井/ビニルクロス

リビング・ダイニング、洋室 床/天然木挽板フローリング 壁・天井/ビニルクロス

撮影/川澄・小林研二写真事務所

協力会社

電気設備工事	テクノサイジング
昇降機設備工事	千代田組
窯・土工工事	関根建設
杭工事	若佐
型枠工事	ベストフォーム
鉄骨階段工事	横森製作所
鉄筋工事	栄鉄筋工業
ステンレス建具・自動ドア工事	リントツ工業
押出成形セメント板	アイカテック建材
タイル工事	八千代工業
宅配ボックス	フルタイムシステム
屋内消火栓	横井製作所
駐輪場設備	ニチプレ

プラウドフラット浅草橋Ⅲ

2018年8月竣工 東京都台東区

事業主／野村不動産

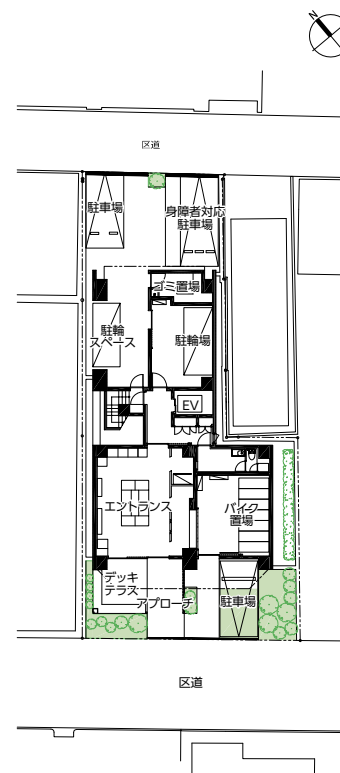
設計・監理／E.A.S.T.建築都市計画事務所

施工／工新建設





時々刻々表情を変えるアルミ折半によるバルコニー手摺り 左／北側ファサード見上げ 右／南側ファサード見上げ



配置図 縮尺1/500



吊行灯とソファが配置されたエントランス



デッキテラスとエントランスの行灯が街に安心感を提供

事業計画

「プラウドフラット」は、分譲住宅プラウドシリーズを手掛ける野村不動産の賃貸住宅シリーズである。2005年以降、利便性の高い都心部の好立地に、賃貸住宅を約80棟4,700戸を供給している。本物件も都心近接の街、浅草橋に位置しており、都心オフィスエリアへ通勤する单身層・DINKS層をターゲットとしている。

プラウドフラットは共通して4つの視点から賃貸住宅のあり方を提案する物件を展開している。1つ目は、専有部分において新たなライフスタイルを提案すること。25㎡程度のワンルーム中心の賃貸住宅でありながら、多種多様な住まい手の要望に対応するために注文住

宅やオーダーメイド分譲住宅でしか実現できなかった、個性的な商品企画を行っている。住まい手が実際に建物や居室を見てから入居を決められる賃貸住宅だからこそ実現できる提案である。

2つ目は、専有部分へのアプローチ空間を徹底的につくりこむこと。住まい手が毎日必ず利用するエントランス・共用廊下のデザインに注力し、住まい手同士の出会いを誘発する空間としての設えを施している。住まい手の目に触れることのない部位からはデザイン要素を徹底的にそぎ落している。

3つ目は、共用空間を通りに向かって大きく開き、街と共有すること。街のヒューマンスケールを意識したデザインにより、開かれた

ラウンジやデッキテラスの空間が地域と共有される場となることを目指している。建物は地域の一部であり、街を歩く人々も将来的なご入居者にもなるお客様であるとの思いから、視覚的にも空間的にも街の価値を高め、地域のためになる建築を目指している。

4つ目は、タイルレスデザイン。集合住宅において多用されてきた外壁タイル貼のデザインから脱却を図っている。剥落の危険性がある外壁にはタイルを一切使用せず、剥落を未然に防止するとともに建設・メンテナンスコスト圧縮を図っている。

上記4つの視点を備えた本物件がマーケットニーズに応え、街の価値を高めることを願っている。

(望月康行／野村不動産)

設計主旨

浅草橋・蔵前・日本橋エリアは高度成長期に建設されたビルの老朽化と経済状況の変化により、大きな転換期を迎えている。本施設と同様に、敷地が集約され新しいマンションに建替えられているケースが多く見られる。その多くはセキュリティを重視することで、街に対して閉じていることが多く、街のにぎわいや通りの連続性を損なっており、夜はとても寂しい通りとなっている。一方で古い建物の1階部分をリノベーションした、小規模なショップ、カフェ、ギャラリーなども現れており、街の魅力を高める重要な要素となっている。本施設では、通りの連続性を保ち、魅力を高めていくために、通りに開いた共用スペースを設けている。エントランスはガラス張りとし、内外が連続したラウンジとデッキテラスで緩

やかに街に開く構成としている。これらは住まう人、街の人のサードプレイスと位置づけ、吊り行灯と一体化した大きなソファが置かれたラウンジは共用の「居間」として居住者たちが交流する場となることを想定している。また、アルミルーバーのパーゴラで囲われたデッキテラスは、エントランスを象徴するだけでなく、街の「縁側」のようにくつろげる場となることを想定している。各々が好きな居場所を見つけ、思い思いの時間を過ごすことで、仮住まいとしての場所ではなく、街にも住まいにも愛着が生まれることを期待している。デザインに際し、江戸時代から続く浅草橋周辺の歴史性を繋ぐ現代デザインを模索した。バルコニー手摺りは日本伝統の屏風をモチーフに、折板形状のアルミ素材でモダンに表現した。手摺りは大小3種類の幅の折板を

ランダムに配置することで、シンプルでありながら光を受ける向きによって時々刻々と表情を変える外観を生んでいる。外壁は落ち着いた日本的な色で統一しながら、バルコニーには対照的な白を用いることで、垂直ラインを強調させ、アルミ折板の縦のリズムと組合せてファサードに表情をもたせている。通りに面したデッキテラスとラウンジには行灯を設け、日本的な「あかり」で居住者を迎え、通りにも安心感を提供している。柔らかな光と木のぬくもりは帰宅者を暖かく包んでくれる。ビルが建ち並ぶ雑多な街の中で直立するこの建物が、行灯のように街のあかりとなり街をつなぐ存在となることを目指してデザインを行った。

(上原慧史/E.A.S.T.建築都市計画事務所)



2～7階平面図 縮尺1/500

10階平面図



街の縁側としてのデッキテラスとエントランスが街に開く



高層部はスカイツリーを望む立地

プラウドフラット浅草橋Ⅲ データ

所在地 東京都台東区柳橋1-25-2

主要用途 共同住宅(賃貸)

戸数 41戸

専有面積 25.12㎡～41.55㎡

事業主 野村不動産

設計・監理 E.A.S.T.建築都市計画事務所

担当/建築: 東 泰規、上原慧史

構造: 齋藤智紀、佐藤基廣(クロスファクトリー)

設備: 小玉貴平、田中公康、大久保宏明(共同設計事務所)

施工 工新建設

担当/有馬裕和、吉岡 洋、川崎晃広

設計期間 2016年12月～2017年6月

工事期間 2017年7月～2018年8月

望月 康行……もちづき やすゆき

1974年静岡県生まれ。1999年信州大学大学院工学系研究科社会開発工学専攻修了。現在、野村不動産都市開発事業本部建築部課長

東 泰規……ひがし やすのり

1957年和歌山県生まれ。1983年広島大学大学院工学系研究科博士課程前期修了。1986年坂倉建築研究所入社。2009年代表取締役所長。2013年E.A.S.T.建築都市計画事務所設立

上原 慧史……うえはら さとし

1989年大阪府生まれ。2012年東京理科大学理工学部建築学科卒業。2014年東京理科大学大学院理工学部建築学科修了、同年E.A.S.T.建築都市計画事務所入社

【建築概要】

敷地面積 355.55㎡

建築面積 205.03㎡

延床面積 1,669.27㎡

建ぺい率 57.66% (許容100%)

容積率 359.62% (許容360%)

構造 RC造

杭・基礎 杭基礎

階数 地上10階

最高高さ 30.43m

軒高 29.73m

天井高さ 1階: 2.33m、2～10階: 2.45m、2.10m

主なスパン 3.96m×6.795m

道路幅員 北: 4m、南: 6m

駐車台数 3台

地域地区 商業地域

【設備概要】

電気設備 受電方式/低圧架空2条引込 設備容量/59kVA、58kVA 契約電力/4～8kVA

空調設備 空調方式/個別冷暖房 熱源/ガス、電気

衛生設備 給水/直結増圧給水方式 給湯/ガス給湯器

排水/公共下水直接放流

防災設備 消火/消火器、連結送水管 排煙/自然排煙

その他/自動火災報知設備、誘導灯、非常照明

昇降機 乗用(9人乗)×1基

【主な外部仕上げ】

屋根 外断熱アスファルト露出防水

外壁 塗装

建具 ステンレスサッシ、スチールサッシ、アルミサッシ

外構 磁器質タイル、平板ブロック舗装、アスファルト舗装

【主な内部仕上げ】

エントランスホール 床/磁器質タイル 壁・天井/塗装
リビング、ダイニング、洋室、キッチン 床/フローリング 壁・天井/ビニルクロス

洗面室、トイレ 床/CFシート 壁・天井/ビニルクロス

撮影/株式会社ITイメージング 土戸雅裕

協力会社

電気設備工事	電	工
給排水衛生・空調設備工事	吉田	設備工業
断熱工事・製作金物・既製金物工事	篠留	蔵商店
スチール製建具工事	三和	シャッター工業
シーリング材	サン	スター技研
造作・床工事	細田	木材工業
UB・サッシ・Y型下枠・床見切・S8巾木	カイダー	ベースボード工業
宅配ボックス	フル	タイムシステム
インターホン	アイ	ホン
屋内消火栓	横井	製作所



上／石、ガラス、金属、タイル等の素材のレイヤーを重ねることで、閉じながら開く重層的なファサードを構成 下／広大な国立科学博物館附属自然教育園に接した敷地

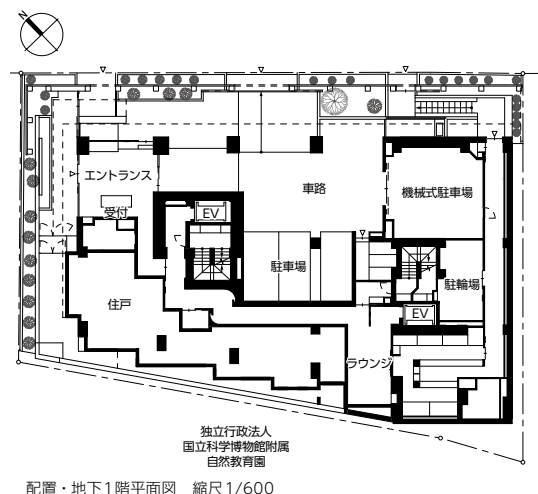
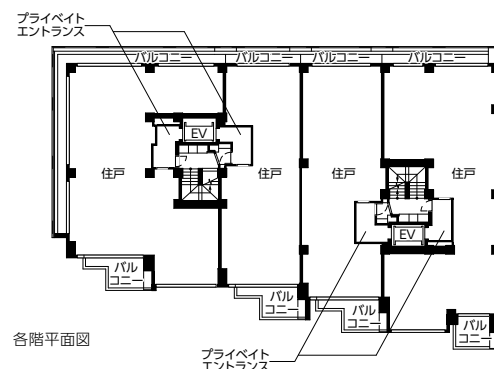




プライド白金台

2016年9月竣工 東京都港区

事業主／野村不動産
 デザイン監修／E.A.S.T.建築都市計画事務所
 設計・監理／三井住友建設一級建築士事務所
 施工／三井住友建設



事業計画

本計画は全16戸、白金台駅徒歩9分の閑静な住宅街に位置する。南側には、自然のままの姿で長い歳月を重ねた広大な緑をもつ国立科学博物館附属自然教育園が隣接する。この恵まれた環境を活かすべく、南側の緑を全住戸が享受できるよう南北のトンネル状にプランニングし、都心でありながら緑・風・光を享受できる空間を実現した。

今回の計画によって敷地南側に隣接する自然教育園の緑と街を断絶することになるため、少しでも街に対して緑を提供すべく北側に沿道緑化を計画した。このトンネル状のプランニングはその沿道緑化を住戸へ取り入れる役目も果たしている。また、各階に廊下を設けず、各住戸へのアプローチとして、エレベーターとコアをセットで設けることで、エレベーターの扉が開くとそこからプライベートな空間とし、裏動線としてコアを用いるという新たな都市型住宅の形式を提案した。

白金台周辺にはプラチナ通りに代表される、気持ち良い並木道と一体となった商業建築

が作り出す明るい開放的な街並みと、プライバシー性を高めるために外部との断絶をほどこした集合住宅が作り出す街並みとが混在している。閉鎖的で重高感のあるファサードを構成するという、都心立地の集合住宅にありがちな計画がなされた周辺の高級集合住宅群に対して、本計画では社会との繋がり・外部空間との繋がりを実現した。「開放感」と「プライバシー性」を両立させた計画とすることで景観・街並みへの新たな解決策を提示するとともに、緑・風・光を住戸に取り入れることで何よりも住まい手にとっても心地よい住空間を確保することを目指した。

(宮田 祐次／野村不動産)

宮田 祐次……みやた ゆうじ
 1987年大阪生まれ。2013年京都大学大学院工学研究科建築学専攻修了、同年野村不動産入社。現在、野村不動産住宅事業本部事業推進二部所属



上／2層構成でヒューマンな街並みを形成
 下／アートが配置されたエントランス

デザイン主旨

敷地の近くに位置するプラチナ通りは建物が柔らかく街に開き街路樹とともに魅力的な通りを形成しているが、敷地が面する通りは堅く閉じられた住宅が並んでいる。そこで本計画では、プライバシーを守りながら街に開き、街とつながり、街の景観を形成する都市型住宅のかたちを目指した。

街路側の特徴的なファサードを形成するのがランダムに配置されたプリントガラススクリーンである。室外機等を隠し、外部からの視線を制御しながら全体的にランダムに配置させている。ガラスにはシルキーでエレガントな白金台をイメージしたファブリック調の柄をプリントしている。また、バルコニーのアルミルーバー手摺りは外からの視線と内側からの見え方を考慮しながら三角形の縦格子の形状やピッチを決め、両側からの視線の制御を行っている。

そして、街（パブリック）と専有空間（プライベート）との間にこれらのガラススクリーンや石、アルミ手摺り等の明るく透明感のある素材のレイヤーを重ねることで、住宅としてのプライバシーを確保しながら重層的に街に開いた白金らしい柔らかなファサードを形成した。複数の素材の重なりにより表現されるパブリックとプライベートの間の距離感が街を形成する景観の一部となり、堅く閉ざされた街の表情を少しずつ柔らかくしていくきっかけになることを目指している。

エントランスからクランクを繰り返しながら進むアプローチ空間はパブリックからプライベートへと緩やかに居住者の意識を変化させる役割を果たしている。また、その空間には作家と協働しながら制作を進めたアート作品を点在させ、ギャラリー的な空間を形成している。2住戸で挟む形で配置されたコアは「エレベーターの扉が開くとそこが住宅のエントランス」となり、住居階では共用部を廃したプライベート性の高いエントランス空間となっている。また、このコア配置により全住戸が自然教育園の広大な自然を享受し、南北に風の抜ける住戸配置を可能にしている。

また、住戸の自然教育園側は偏平梁とし、梁型をなくしたフラットな高天井で森とつながており、食事もできる広さの3m四方の「森のテラス」を確保することで、自然と一体化したライフスタイルを提案している。

(篠原 武史／E.A.S.T.建築都市計画事務所)



東 泰規……ひがし やすのり
1957年和歌山県生まれ。1983年広島大学大学院工学研究科博士課程前期終了。1986年坂倉建築研究所入社。2009年代表取締役所長。2013年E.A.S.T.建築都市計画事務所設立



篠原 武史……しのはら たけし
1984年埼玉県生まれ。2012年東洋大学大学院工学研究科環境・デザイン専攻修了、同年driendl*architects入所、2014年E.A.S.T.建築都市計画事務所入所

設計主旨

南側の森を建物に取り込むことが最大のテーマであった。

そのために、森からリビングルームへの空間的な繋がりにおいて、外部空間であるバルコニーの軒天・ウッドデッキと内部空間の天井・床には無駄な凹凸を極力無し、床から天井までの大きな開口部を隔ててフラットに繋げることで、緑を最大限取り込む空間とした。

日影規制により十分な階高が確保できない条件の中、水平力をコア部分である階段室及びエレベーターの外周壁（200～600mm）で負担させることや南側の大梁を連続梁の扁平梁とすること等の工夫により、南側の開口部を最大限大きくすることを実現した。

(杉元宣計／三井住友建設)



前田 政則……まえだ まさのり
1969年兵庫県生まれ。1991年広島大学工学部第四類建築学課程卒業、同年三井建設入社。現在、三井住友建設建築本部第二設計ディビジョン デイビジョンリーダー チーフアーキテクト



杉元 宣計……すぎもと のぶかず
1981年兵庫県生まれ。2007年広島大学大学院工学研究科修了、同年三井住友建設に入社。現在、同社建築本部第三設計ディビジョン プロジェクトアーキテクト

プラウド白金台 データ

所在地 東京都港区白金台5-11-11

主要用途 共同住宅(分譲)

戸数 16戸

専有面積 102.55㎡～248.97㎡

事業主 野村不動産

デザイン監修 E.A.S.T.建築都市計画事務所

担当／東 泰規、篠原武史

設計・監理 三井住友建設一級建築士事務所

担当／総括：前田政則 建築：杉元宣計、阿部享史

構造：小田 稔、小柴美幸 設備：細尾典主

施工 三井住友建設

担当／野口安大、甲角敏弘、福永淳二、押谷勇輝、佐々木章佑、柴 武仁

設計期間 2014年4月～2014年11月

工事期間 2014年11月～2016年9月

【建築概要】

敷地面積 1,066.80㎡

建築面積 634.66㎡ **延床面積** 3,900.04㎡

建ぺい率 59.49%（許容60%）

容積率 236.02%（許容286.40%）

構造 RC造 **杭・基礎** 杭基礎（既製コンクリート杭）

階数 地下2階、地上6階 **最高高さ** 19.84m

軒高 19.18m **階高** 3.20m

天井高さ 2.48m

主なスパン 5.75～9.35m×3.50～8.56m

道路幅員 7.19m

駐車台数 17台

地域地区 準防火地域、第1種中高層住居専用地域、第3種高度地区（絶対高さ24m）

【設備概要】

電気設備 受電方式／3φ3W6,600V、1回線受電 集合住宅用変圧器／50+250kVA

空調設備 空調方式／空冷ヒートポンプパッケージ方式 換気方式／顕熱交換器（第1種換気） 熱源／電気

衛生設備 給水／直結増圧給水方式 給湯／24号TES給湯器 排水／単管式排水方式、デイスボーザー排水処理システム、雨水貯留槽

防災設備 消火／屋内消火栓設備、自動火災報知設備、HFC-23ガス消火設備、連結散水設備 排煙／自然排煙

昇降機 乗用（13人乗、60m/分）×2基

【主な外部仕上げ】

屋根 アスファルト露出防水、フッ素ガルバリウム鋼板

外壁 ボーダータイル、天然石、一部ガラススクリーン、

アルミ横ルーバー

外構 天然石、タイル、フェンス（ガラス・天然石）

【主な内部仕上げ】

エントランス 床／天然石 壁／天然石、突板シート

天井／塗装

プライベートエントランス 床／天然石 壁／突板シート 天井／塗装

住戸 床／突板フローリング、天然石 壁・天井／ビニルクロス

撮影／川澄・小林研二写真事務所



絵画が配置されたギャラリー的な共用部廊下

協力会社

電気設備工事	旭日電気工業
土工事	佐々木土木組
鉄筋工事	小黒組
鉄筋材料	東京鉄鋼
型枠工事	米澤興業
自動ドア工事	寺岡オートドア
玄関扉・エントランスパネル	三和シャッター工業
塗膜防水工事	アイビー防水
防水（シーリング）工事	マサル
シーリング材	サンスター技研
内装工事	ちの
木製建具工事	加藤木材工業
フローリング工事	昭和洋樽製作所
宅配ボックス	フルタイムシステム
専有部給水給湯管	三井化学産資
造園工事	西武造園
機械式駐車設備工事	住友重機械搬送システム